

平成 26 年度 こどもサポートセンターを開設します

— 農林水産省旧栃木農政事務所栃木庁舎 (城内町 2 丁目) を活用 —

こどもサポートセンターの理念

心の成長や発達に何らかの課題を持つ児童の義務教育後の地域社会参加に向けて、医師や専門家、ボランティア市民などが子どもの支援に継続的に関わることができる施設



栃木市こどもサポートセンター

事業内容

- 心・育ちの相談室 (医師、保健師、臨床心理士、言語聴覚士による相談と各種検査の実施)
- ことばの教室 (未就学児対象)
- 放課後巡回支援教室 & フレンドシップスクール
- こどもサポートクラブ



地域人材との
出会いと交流

専門的助言
の依頼

センター協力委員

医療・教育・福祉等の領域で、子どもの支援に関わってきた有識者

☆高い専門性の確保

センター職員への指導・助言の他、関係職員や支援者への研修等を行い各支援現場における対応の充実を図る

こどもサポーター

子どもの支援に積極的に参加できる市民

☆地域における理解者の拡大

子どもたちの社会参加に向けた活動に関心を持つボランティア市民を募集し、支援活動に参加してもらう

研修によるスキルアップ



市では従前から専門職による保育園や幼稚園、小・中学校への巡回相談事業に取り組んでいます。また、福祉や健康、教育などの関係課による連携会議を定期的に実施し支援体制の整備を進めてきました。

平成 24 年度における社会福祉課発達支援担当が受けた、集団不適応、対人トラブル、言葉の遅れなどの相談人数は 466 人 (2 歳～ 21 歳) でした。こうした子どもへの支援策として社会福祉課では「放課後巡回支援教室」(いそどり教室) を実施しています。

現在、登録児童が 80 人、実施校は小学校 25 校 (27 校中)、中学校 7 校 (13 校中) となっており、新規の希望者も増えています。

また、「こどもサポートクラブ」では、地域の特色や人材を生かして遊び・学び・体験するクラブとして、今まで人との関

わりに自信が持てなかった子どもにも自分のペースで学べる楽しい活動を提供していきます。

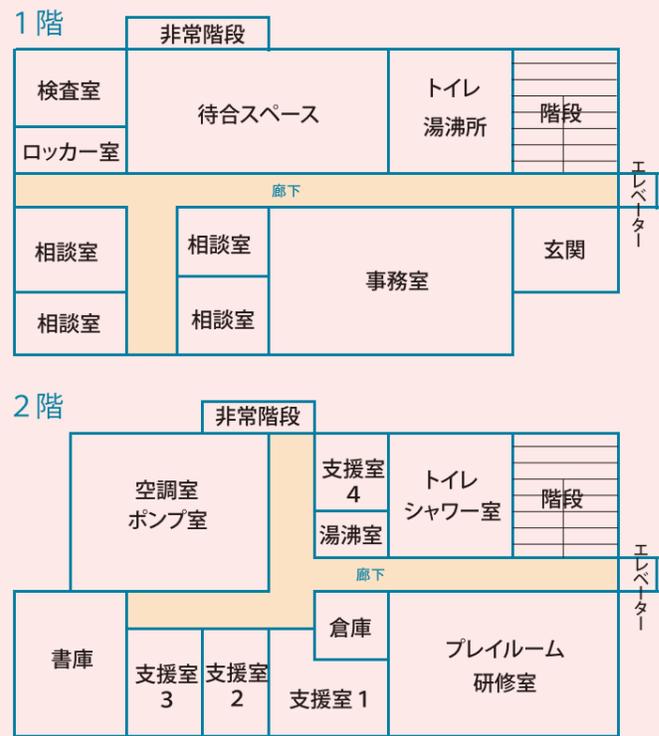
このような取り組みや支援策を更に拡充するとともに、新市にふさわしい新しい支援の拠点施設として「こどもサポートセンター」を開設します。現在新年度の開設に向け準備を進めています。

※いそどり教室は遊びを通してお子さんが楽しみながら友だちとの関わり方や社会生活に必要なルールを身につけられるよう支援する教室です。

※こどもサポートセンターは、市内城内町 2 丁目にあった国 (農林水産省) が農政事務所として使っていた建物を市が買い取り、必要な改修工事を行い整備するものです。

☎ 社会福祉課 ☎ 21 - 2508

こどもサポートセンター平面図



住まいを総合的に、そして末永くサポート致します

土地分譲販売
不動産仲介

木造注文住宅
企画住宅

リフォーム
増改築

外構
エクステリア

家造りは、土地探しや資金の問題、外構・エクステリア、リフォーム等、実に様々な要素があり、お客様にとって最良の選択を重ねていくことが大切です。木の花ホームでは、各分野の専門家が相互に連携することで、家造りのすべての場面でお客様を末永くサポート致します。

大工 3 代、いい家づくり。

詳しくは下記フリーダイヤルまでお気軽にお問合せ下さい

木の花ホーム

フリーダイヤル 0120-895087

木の花ホーム 土地情報 検索

本社 〒322-0606 栃木市西方町本城62-3 宅地建物取引業免許/栃木県知事(1)第4807号

